

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【公開番号】特開2017-125215(P2017-125215A)

【公開日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2017-86318(P2017-86318)

【国際特許分類】

C 0 8 L 81/02 (2006.01)

C 0 8 L 77/12 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 81/02

C 0 8 L 77/12

C 0 8 L 63/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日 (2017.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリアリーレンスルフィド樹脂組成物またはその成形体と、ポリアリーレンスルフィド樹脂 (A) に対して他の樹脂とを、または、金属とを接着する方法であって、

前記ポリアリーレンスルフィド樹脂組成物が、ポリアリーレンスルフィド樹脂 (A) と、ポリアミドエーテル樹脂 (B) と、エポキシ樹脂 (C) を必須成分とするポリアリーレンスルフィド樹脂組成物であること、

ポリアミドエーテル樹脂 (B) の曲げ弾性率が 100 (MPa) 以下であることを特徴とする方法。

【請求項 2】

ポリアミドエーテル樹脂 (B) が、ポリエーテルブロックとポリアミドブロックとを有するブロック共重合体樹脂である請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

ポリアリーレンスルフィド樹脂 (A) 100 質量部に対して、前記ポリアミドエーテル樹脂 (B) が 0.5 ~ 40 質量部の範囲であり、エポキシ樹脂 (C) が 0.5 ~ 40 質量部の範囲である請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

エポキシ樹脂 (C) が、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂である請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の方法。

【請求項 5】

前記他の樹脂がエポキシ樹脂である請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

ポリアリーレンスルフィド樹脂 (A) の接着性を向上する方法であって、ポリアリーレンスルフィド樹脂 (A) と、ポリアミドエーテル樹脂 (B) と、エポキシ樹脂 (C) を必須成分として溶融混練すること、

ポリアミドエーテル樹脂 (B) の曲げ弾性率が 100 (MPa) 以下であること、を特

徴とする方法。